



～「一人ひとりが輝き 豊かで活力あるまち ちくしの」をめざして～

ちくしの女性センターニュース

2021年
5月

「男女共同参画標語 優秀作品」が決まりました！

優秀作品

★ 男女じゃなく 得意を分担 うちの家事
★ 子らの代 性でなく個性で 道を選べ
★ 「女性の」という修飾語のない未来を目指して
★ 「昔から」今こそ換える 大チャンス



～こんな社会になったらいいな！～
男女共同参画の未来について考えよう

今年2月に、「こんな社会になったらいいな」という日常生活の中で感じた男女共同参画の未来について考える標語を募集いたしました。家事・育児・地域の事など日常生活で身近に感じる男女共同参画について、優しさ・ユーモアあふれ、子ども世代の明るい未来への願いを込めた作品が多数寄せられました。ご応募いただき、ありがとうございました。厳正なる審査の結果、応募いただいた31作品の中から、次の4作品を優秀作品に選定しました。



入選作品以外にもご応募いただいた作品は、6月16日(水)～30日(水)に生涯学習センター1階多目的ホールにおいて、展示いたします。是非ご覧ください！



「世界の男女平等ランキング」 今年は 120 位！

3月31日、世界経済フォーラム(WEF)が2021年度のジェンダーギャップ指数を発表しました。

ジェンダーギャップ指数とは、「政治・経済・教育・医療」という4つの分野で男女格差を指数化したもので、純粋に男女の差だけに着目して評価をしていることが特徴です。

日本は、156カ国中120位で、G7の中で最下位です。特に、経済分野117位、政治分野147位とかなり低く、政治参画における男女差が順位を下げる要因となっています。今回の傾向として新型コロナウイルスの流行で、ジェンダーギャップはさらに広がったとされています。その原因として、コロナ禍で経済活動が停滞し、非正規雇用の女性の就業率の高い飲食業・小売業が大きな打撃を受け、失業率が上昇したことなどがあげられます。日本でも多くの非正規雇用の女性が影響を受けており、生活困窮や自殺者の増加などの問題にもつながっています。

「ジェンダーギャップ指数 日本の順位」(156カ国中)

総合	政治	経済	教育	医療
120位	147位	117位	92位	65位



考えてみよう！「生理の貧困」



「生理の貧困」とは？



「生理の貧困」とは、女性が生理用品の購入や利用が出来ない状況を意味します。

現在、女性の5人に1人がこの状況にあり、学習・社会生活に支障をきたしており、未来が奪われる危険性があると言われています。数年前より「生理ムーブメント」という現象もあり、多くのマスコミ等でも取り上げられるようになりました。

新型コロナ禍の中での生活苦等と重なり、これまで見過ごされてきた「生理の貧困」問題が明らかになりました。この問題は、これまで支援の届かない、見過ごされてきた分野であり、背景には経済的な理由・ネグレクト等があるとされ、根が深いとされています。

最近では、経済的に困窮する女性に対する食料品や生理用品の無料配布等の支援が始まっています。海外でも生理用品に対して、贅沢品と同様に課税対象である状態を問題視し、社会全体の問題として捉え、生理用品を非課税にする動きが高まっています。これまでの男性中心の社会の中で、語られることのなかったこの問題は、ジェンダー平等を考え、改善するきっかけになればと考えられています。

女性相談室のご案内

ひとりで悩んでいませんか？

夫婦のこと（DVや離婚など）、家族のこと、職場のこと（人間関係、セクハラ、パワハラ等）、相談は無料です。秘密は守ります。男性もお気軽にご相談ください。

- ※総合相談は予約が優先となります。
- ※法律相談は、相談日の2週間前の水曜日
から、電話で申し込んで下さい。
- ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため
面接相談は、必ずマスクの着用をお願いします。

相 談	日 時
総 合 相 談	月～金 9:00～16:30 (祝日除く)
女性弁護士による 法 律 相 談	毎月第2・4火曜日 13:00～16:00(1人30分)

申込み・問合せ先 TEL (092) 918-1311

<発行>：筑紫野市 総務部 人権政策・男女共同参画課 男女共同参画担当
〒818-8686 筑紫野市石崎 1-1-1 筑紫野市役所
TEL：092-918-1311 e-mail：danjo@city.chikushino.fukuoka.jp